



## 2019年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年2月12日

上場会社名 IMV株式会社  
 コード番号 7760 URL <http://www.imv.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小嶋 淳平  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画本部長 (氏名) 濱里 一也  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 06-6478-2565

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年9月期第1四半期の連結業績(2018年10月1日～2018年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第1四半期	2,416	5.0	197	45.6	145	18.7	78	25.3
2018年9月期第1四半期	2,301	27.5	135	84.3	178	1.3	105	19.8

(注) 包括利益 2019年9月期第1四半期 40百万円 (67.6%) 2018年9月期第1四半期 123百万円 (109.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第1四半期	4.84	
2018年9月期第1四半期	6.49	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第1四半期	15,523	6,315	39.9
2018年9月期	15,356	6,407	40.7

(参考) 自己資本 2019年9月期第1四半期 6,193百万円 2018年9月期 6,256百万円

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年9月期の連結財政状態については、遡及適用後の数値を記載しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期		0.00		8.00	8.00
2019年9月期					
2019年9月期(予想)		0.00		8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年9月期の連結業績予想(2018年10月1日～2019年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,500	15.1	650	2.3	650	1.3	420	8.3	25.89
通期	12,000	8.6	1,200	39.8	1,200	30.7	780	34.9	48.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年9月期1Q	16,957,016 株	2018年9月期	16,957,016 株
期末自己株式数	2019年9月期1Q	735,598 株	2018年9月期	735,598 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年9月期1Q	16,221,418 株	2018年9月期1Q	16,208,075 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載した予想数値その他の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等は、「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年9月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
3. その他	9
生産、受注及び販売の状況	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、人件費の上昇に伴うコスト増による下振れリスクがあるものの、堅実な雇用・所得情勢を背景に個人消費は回復し、さらに設備投資の堅調さを受けた企業の生産活動も堅実に推移しております。海外経済におきましては、米中貿易摩擦の激化や中国経済の減速を受けて世界経済及び金融市場への影響等が懸念され、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、前連結会計年度にベトナムにてIMV TECHNO VIETNAMを設立し、今後一層の成長が期待される東南アジア地域において、弊社主力製品である振動シミュレーションシステムの販売、メンテナンスサービス及び試験受託を開始いたしました。

さらに、当第1四半期連結会計期間においては、埼玉県入間市に設立した日本高度信頼性評価試験センター(e-TCJ)が2018年12月より操業を開始し、電動車両用機器及び部品の新環境試験規格(ISO19453)や各社独自規格に全面対応するべく、自動車及び自動車部品メーカー様向けに振動試験に限定しないサービス拡充を図る等、顧客獲得のための様々な取組みを進めてまいりました。

以上の結果、当社グループの売上高は2,416百万円(対前年同四半期比5.0%増)となり、利益面では増収効果により営業利益が197百万円(対前年同四半期比45.6%増)となりました。しかしながら、円高による為替影響により経常利益は145百万円(対前年同四半期比18.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は78百万円(対前年同四半期比25.3%減)となりました。

品目別の営業の概況は次のとおりであります。

#### (振動シミュレーションシステム)

国内市場において、お客様に好評価をいただいている恒温槽と、全自動省エネ運転が可能な振動試験装置(EMシリーズ)を組み合わせた複合試験装置が堅調に推移し、車載機器業界及び航空宇宙業界を中心に大型複合試験装置の売上が計上され、さらに電機電子業界向けにおいても大型多軸振動試験装置の売上が計上されました。

海外市場においては、電気自動車関連の試験需要が旺盛であり、欧米及び韓国向けに大型の振動シミュレーションシステムの売上が計上されました。

これらを受け、売上高は1,695百万円(対前年同四半期比3.9%増)となりました。

#### (テスト&ソリューションサービス)

試験対象品の大型化を受け、上野原高度試験センター及び大阪テストラボの大型機による試験が伸長したことに加え、日本高度信頼性評価試験センター(e-TCJ)の稼働開始等により、前年同期を上回る結果となりました。

以上の結果、この品目の売上高は460百万円(対前年同四半期比6.1%増)となりました。

#### (メジャリングシステム)

国内市場において、電力会社や製造プラント向け大型振動監視装置の受注が継続したことに加え、海外市場における地震計売上が伸長したことにより、この品目の売上高は260百万円(対前年同四半期比10.7%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産は前連結会計年度末と比べ166百万円増加し、15,523百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末と比べ189百万円増加し、9,118百万円となりました。この主な要因は、電子記録債権の増加365百万円、棚卸資産の増加570百万円並びに受取手形及び売掛金の減少890百万円によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末と比べ22百万円減少し、6,404百万円となりました。この主な要因は、無形固定資産の減少22百万円、投資その他の資産の減少19百万円及び有形固定資産の増加19百万円によるものであります。

### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末と比べ258百万円増加し、9,207百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末と比べ376百万円増加し、7,615百万円となりました。この主な要因は、電子記録債務の増加223百万円と短期借入金の増加174百万円によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末と比べ117百万円減少し、1,591百万円となりました。この主な要因は、長期借入金の減少90百万円と株式報酬引当金の減少23百万円によるものであります。

### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末と比べ91百万円減少し、6,315百万円となりました。この主な要因は、配当金の支払額129百万円に伴う利益剰余金の減少51百万円とその他有価証券評価差額金の減少28百万円によるものであります。自己資本比率は前連結会計年度末と比べ0.8ポイント減少し39.9%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年11月14日の「平成30年9月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,672,116	1,809,227
受取手形及び売掛金	4,091,387	3,201,006
電子記録債権	256,647	621,776
製品	252,559	407,064
仕掛品	1,565,558	1,969,028
原材料	767,244	779,886
その他	332,720	339,366
貸倒引当金	△8,613	△8,411
流動資産合計	8,929,622	9,118,945
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,504,102	2,491,498
土地	1,944,323	1,944,323
その他(純額)	1,064,643	1,097,236
有形固定資産合計	5,513,069	5,533,059
無形固定資産		
のれん	303,685	282,288
その他	61,808	60,767
無形固定資産合計	365,494	343,055
投資その他の資産	547,958	528,032
固定資産合計	6,426,522	6,404,147
資産合計	15,356,145	15,523,092
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,725,076	1,825,058
電子記録債務	960,455	1,184,435
短期借入金	2,870,000	3,044,909
1年内返済予定の長期借入金	381,572	366,581
未払金	436,410	348,049
未払費用	326,728	181,274
未払法人税等	108,524	101,290
未払消費税等	14,250	6,868
製品保証引当金	90,000	79,000
株式報酬引当金	—	22,336
その他	326,442	455,670
流動負債合計	7,239,460	7,615,475
固定負債		
長期借入金	1,332,550	1,242,199
長期末払金	192,169	192,169
資産除去債務	48,408	48,330
株式報酬引当金	23,576	—
その他	112,302	109,157
固定負債合計	1,709,006	1,591,855
負債合計	8,948,467	9,207,331

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	464,817	464,817
資本剰余金	563,437	563,437
利益剰余金	5,308,745	5,257,545
自己株式	△159,282	△159,282
株主資本合計	6,177,717	6,126,518
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	92,253	63,965
為替換算調整勘定	△13,433	2,777
その他の包括利益累計額合計	78,820	66,742
非支配株主持分	151,139	122,500
純資産合計	6,407,677	6,315,761
負債純資産合計	15,356,145	15,523,092

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2017年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2018年12月31日)
売上高	2,301,268	2,416,015
売上原価	1,522,045	1,613,868
売上総利益	779,223	802,147
販売費及び一般管理費	643,838	605,058
営業利益	135,385	197,088
営業外収益		
受取利息	117	197
受取配当金	2,366	2,887
為替差益	29,947	—
受取賃貸料	10,530	10,471
セミナー収入	4,052	5,301
雑収入	2,116	5,772
営業外収益合計	49,131	24,629
営業外費用		
支払利息	4,323	5,032
賃貸収入原価	369	259
為替差損	—	66,012
セミナー費用	758	2,214
雑損失	467	3,064
営業外費用合計	5,918	76,583
経常利益	178,598	145,134
特別損失		
固定資産除却損	34	0
特別損失合計	34	0
税金等調整前四半期純利益	178,564	145,134
法人税、住民税及び事業税	13,846	92,270
法人税等調整額	67,374	△3,827
法人税等合計	81,220	88,442
四半期純利益	97,343	56,691
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,902	△21,880
親会社株主に帰属する四半期純利益	105,246	78,571



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2017年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2018年12月31日)
四半期純利益	97,343	56,691
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36,347	△28,288
為替換算調整勘定	△10,267	11,617
その他の包括利益合計	26,079	△16,671
四半期包括利益	123,423	40,020
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	129,254	66,494
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,831	△26,473

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

## 3. その他

生産、受注及び販売の状況

(生産実績)

品目	期別	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)		対前期比(%)
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム		1,487,424	67.4	1,689,649	70.7	113.6
テスト&ソリューションサービス		456,531	20.7	455,847	19.1	99.9
メジャリングシステム		263,360	11.9	243,112	10.2	92.3
計		2,207,316	100.0	2,388,609	100.0	108.2

(受注高実績)

品目	期別	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)		対前期比(%)
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム		2,738,468	76.7	2,926,271	76.6	106.9
テスト&ソリューションサービス		469,973	13.1	566,784	14.8	120.6
メジャリングシステム		362,681	10.2	327,899	8.6	90.4
計		3,571,123	100.0	3,820,955	100.0	107.0

(受注残高)

品目	期別	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)		対前期比(%)
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム		3,509,993	87.6	4,740,980	87.6	135.1
テスト&ソリューションサービス		225,816	5.6	332,023	6.1	147.0
メジャリングシステム		271,388	6.8	339,133	6.3	125.0
計		4,007,197	100.0	5,412,137	100.0	135.1

(販売実績)

品目	期別	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)		対前期比(%)
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム		1,632,137	70.9	1,695,284	70.2	103.9
テスト&ソリューションサービス		434,208	18.9	460,576	19.0	106.1
メジャリングシステム		234,922	10.2	260,154	10.8	110.7
計		2,301,268	100.0	2,416,015	100.0	105.0